

ノーサイド

北原 巖 男

固潔しとしない、敬老の日の対象者扱いされるなんてまっぴらごめん、そんな思いでおられるかも知れません。

その気概大いに結構！その意気込みであなた自身のオンリーワンの人生のお花を、折々の自分のお花を、活き活きと咲かせて行ってください！YES、常に現在進行形です！

お節介のようで恐縮です

この日は、1966年(昭和41年)に制定されました。2003年以降は、ハッピーマンデー制度により9月の第3日曜日。ことしは16日です。

すべしと来たあなた、は、きつと親(祖父母)孝行息子(娘)でしょうね。これからも、ずっとずっと孝行して行ってください。

但し、あなた自身は、自分分は若い、生涯現役であり年寄り扱いされることは断

に上り、今後増える見通した皆さんの生活を守る足しだ。同年に免許を返納したのは29万人。5年で3倍に増えたとはいえ一部にとどまる(9月6日付け日本経済新聞「迫真」)

有名芸能人が返納する様子が、テレビで報じられていました。彼のように代替手段が容易に確保できる人

あなたの思い

はい。でも、例えば田舎で暮らす年老いた父母や祖父に、免許証を取

り上げられたら行動が著しく制限されたり、生きて行くのが困難になると言っ

た。母はせつかちでスピードも出し、車はいつもデコボコ。父は、「右良し左良し」の超慎重

な心配でなりません。は限界があります。

東京に住んでいる僕たちが田舎に帰るか、両親が東京に来て一緒に住むか。いずれも、出来ることではありませんでした。僕は、最後まで高齢の両親の運転を抑制装置等、安全のため

の所要の機能が装備された車に限定して、高齢者が運転出来るようにすることも必要と思います。

一軒隣の一人暮らしのおじいさんは、軽自動車です。王道はありません。安全としていました。人を傷つけたら大変と都会に住んでいる子供に運転免許証を取

り上げられてからは、朝気が無くなり外出する機会もめっきり減ってしまいました。亡くなられたのは、それからあまり長いことではありませんでした。

一度手に入れた便利さや自由は、元気の源でもあり、容易に手放すことは出来ません。更に、過疎化が猛烈社)日本東ティモール協会会長。(公社)隊友会理事

北原 巖男

(きたはらいわお)

元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現(一)